

## 【眼の病気のおはなし】

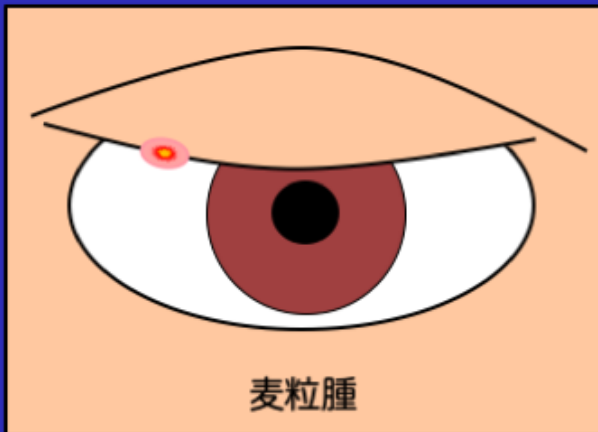
### その⑧ ものもらい

まぶたに腫れものができるとうみや異物感で不快を生じます。いわゆる「ものもらい」はまぶたにある脂腺（あぶらを作る組織）に生じた腫れのこと、細菌による感染症（麦粒腫）と、あぶら詰まりがもとで生じた慢性のしこり（霰粒腫）の二つがあります。

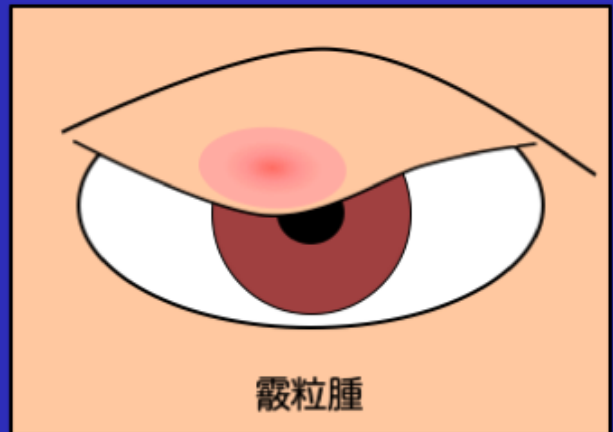
麦粒腫は細菌感染が原因ですので、抗菌薬投与で治療します。外用（点眼・軟膏）がおもですが、症状が強いときは内服を処方することもあります。

霰粒腫は慢性炎症についてまず自然経過を追いますが、小さくならないときには切開して内容を取り除くことで治まりが良くなります。

## ものもらい



麦粒腫



霰粒腫

ものもらいとは「まぶたにある脂腺に生じた腫れ」

麦粒腫：細菌による感染症

霰粒腫：慢性のしこり（肉芽腫性炎症）